

会 議 録

- 1 附属機関の会議の名称 水戸市立博物館協議会
- 2 開催日時 令和6年2月9日（金） 午前10時から午後0時まで
- 3 開催場所 水戸市立中央図書館 3階 視聴覚室
- 4 出席した者の氏名
 - (1) 委員 桐原 幸一, 笹目 礼子, 川田 寛子, 河原 将子, 中庭 忠, 安嶋 隆, 小坪 のり子, 添田 仁, 玉川 里子, 塚原 正彦, 林 圭史, 藤 和博, 藤本 陽子
 - (2) 執行機関 鈴木 雅人, 平澤 尚子, 中村 有紀子, 藤井 達也, 坂本 京子
 - (3) その他
- 5 議題及び公開・非公開の別
 - (1) 報告事項
 - ① 企画展「子どもミュージアム 昆虫の不思議」の結果について（公開）
 - ② 特別展「中村光哉の染色 黒の時代－蠶の仕事－」の結果について（公開）
 - ③ 水戸市民会館オープン記念特別展示「市立博物館コレクション展」の結果について（公開）
 - ④ 令和5年度博物館事業の実施状況について（公開）
 - (2) 協議事項
 - ① 特別展「江戸氏 一知られざる水戸の戦国時代－」の開催について（公開）
 - ② 令和6年度博物館の主な事業計画（案）について（公開）
 - (3) その他
- 6 非公開の理由
- 7 傍聴人の数（公開した場合に限る。） 0人
- 8 会議資料の名称 令和5年度第2回水戸市立博物館協議会
- 9 発言の内容
（開会のあいさつ）

【委員長】

さっそく議事に入りたいと思います。はじめに報告事項のほうから、企画展「子どもミュージアム 昆虫の不思議」の結果について、2つ目、特別展「中村光哉の染色 黒の時代－蠶の仕事

ー」の結果について、3つ目、水戸市民会館オープン記念特別展示「市立博物館コレクション展」について、4つ目、令和5年度博物館事業の実施状況について、以上4つについて事務局より説明をお願いします。

【執行機関】（資料説明）

【委員長】

どうぞ何か御質問、御意見ございましたら。

【__委員】

オープン記念の展示について、来場者6,800人という人数の内訳は分かりますでしょうか。

【執行機関】

カウンターで自動で計算しているので、内訳はありません。

【__委員】

市民会館でのオープン記念があって市博に来てもらうという流れがあったということですが、この人数はだいたいどれぐらいだと考えたらいいんでしょう。それもカウントはしてないですか。

【執行機関】

カウントはしていません。いつもより来館者が多いかなと思って展示室で声をかけたりすると、ついでに来たんですよという人が時々いたという感じで。

【__委員】

市民会館から市博へのつながりができるというのは非常に大事なことで、今回、市民会館に展示をされたということが重要なことなんでしょうと思います。そういった小さなミニコーナーみたいなものがあれば人を呼べる可能性があるのかなと思いました。

最初に内訳をお聞きしたのは、昆虫展もその後の美術の展示も高校生の人数がすごく少ないと思っていて、一年前のこの協議会だったと記憶していますが、高校の歴史総合などの授業等でうまく博物館の展示を活用するといったようなことを考えてみてはどうかという発言が確かあったように記憶してるのですが、その辺りについて、今回の高校生の人数が少ないということも含めて、今年度少し考えられたことがあったら教えてもらえればと思います。

【執行機関】

全部の高校に調査をかけて、歴史や自然や美術などのクラブがないかを伺いまして、チラシやポスター、関係資料を持って、回答のあった高校まで直接お邪魔してPRをさせていただきました。自然部門では、そういうことをしていなかった「渡り鳥の不思議」展と比較すると、高校生の数は若干増という形になりましたので、多少なりとも効果は出てるのかなと思います、これからも

やっていきたいと思っているところです。市の教育委員会は高校とのつながりが希薄なものですから、一からパイプ作りを進めていかななくてはならないというのがありますので、少しずつ努力していきたいと思っています。

【__ 委員】

「コレクション展」に関連してですが、4期という長いスパンで、しかも「オープン記念の特別展示」ということでしたが、これだけ長いとオープンからの期間も空いてしまうので、後半手薄になってくるというのはあると思います。「中村光哉」展でも展示会場が狭いという話がありましたが、特別展の時も3階のスペースを有効に使えたほうが良かったのではないかと思います。オープン記念の特別展示でやるのであれば、インパクトを持って1回ドンとやったほうが、オープンということに合わせるにしても効果的ではなかったのかなと思います。

「中村光哉」展は、たくさんの資料を集められて見応えはありましたが、どうしても4階の展示室は天井も低いし、大きなものとなると見栄えがしない感じになってしまうので、できるだけ見る人にとって見たときの余白の感動がもう少しあったら良かったのにな、もったいないなというふうに感じてしまいました。「コレクション展」との絡みでそうなったとしたらちょっと残念だったと感じました。

オープン記念はアンケートも取っていないですか。

【執行機関】

取っていないです。

【副委員長】

私も水戸市民会館との関係でもっとこちらにも誘客されるといいなと思うのですが、オープン記念に合わせて市民会館のほうにコーナーが設けられたのは第1期だけだったのでしょうか。

【執行機関】

第1期だけです。

【副委員長】

今「江戸氏」の特別展をやっていますが、市民会館の中でそれをアピールするパネル等はないのですか。

【執行機関】

市民会館は指定管理者になっておりまして、水戸市といえども意向が通せる状況ではありません。オープン記念の第1期についても、本当ならお金を払って展示というところを無理にお借りしたような立場でございまして、「江戸氏」展についても場所を借りて展示というところまでは踏み込めて交渉に至っていない状況でございます。

【副委員長】

11 ページの資料を見ましても、第1期の来場者は非常に多くありますので、ぜひ何か常設的に市民会館に水戸市立博物館がこちらにありますというようなものが掲出されるといいなと思います。

私も「中村光哉」展を非常に感動して見ましたが、市立博物館は本当にいい資料の収集をされているのだなというのをすごく思いました。水戸市の財産として、ぜひ市民の方に還元して見ていただく機会を作っていただけるといいな。「中村光哉」展に限らず、「昆虫」展でも10年ぶりに展示された資料があると説明もありましたが、ぜひそういった資源を見せる機会を作っていただけたらと思いました。

【委員長】

市民会館にポスターが掲示されているところがありますが、全部有料ですか。

【執行機関】

掲示する掲示しないは我々の裁量に任せさせていただきますという条件付きです。市民会館も独自の事業をされていますから、そちらが優先かとは思いますが。

2階に商工会議所のまちな駅がありますので、そちらには掲示をお願いしています。

【___ 委員】

高校との結びつきがなかなか難しいというお話がありましたが、茨城県は今度ラーケーション、学校を休んで家族でいろんなところに行っていいたいというようなことを取り組むというのがあると思います。県立高校は全部。そういうところに博物館をこんなふうにご利用できるというPRをするのもいいのではないかなと思います。

市内に高校は結構ありますから、新しい取組の始めのうちからプッシュしておくのがいいかなと思っていて、よろしくをお願いします。

【___ 委員】

ちょうど今度の4月から開始ですものね。

【委員長】

他にございますか。

【___ 委員】

「子どもミュージアム」は非常に幅広い展示内容で、子どもだけでなく親御さんも楽しめる、とてもいい企画だったと思います。子どもを連れて来るのは親御さんなので、親御さんがこれは面白そうだな、子どものためになるなと感じてくれないと足を運んでもらえないので、子どもだけに焦点を当てるのではなく、親御さんも楽しめるコーナーがアピールできるといいかと思えます。今回はそれが入っていてとてもいいと感じました。

この展示を知るきっかけは、アンケートでいえばチラシが一番大きいかと思いますが、学校には大量のチラシが来るんです。ただ最近では、チラシもPDFで学校にメールで送られてくることもありまして、学校からの保護者への連絡も今はすべてスマホでしています。水戸市だとテトルという通信システムがあるのですが、それで学校からの連絡もするし、いただいたチラシもそこにPDFで添付して保護者の方に見てもらっています。

ターゲットによっては新聞やテレビで取り上げてもらうと一気にお客さんが増えることがあると思いますが、小学生の保護者でいえば圧倒的にスマホの情報が大きいと思います。SNSで見えて来たというのが書いてありませんでしたが、その辺も活用できるといいかと思います。

【__委員】

チラシは、何部くらい刷られてるのですか。

【執行機関】

A4で約1万部、言葉を小学生向けにかみ砕いたA5のチラシをプラスアルファで作っています。

【__委員】

予算立てのことも考えると、今後いろいろ検討していくのも一つかと思います。

【__委員】

近年、インバウンドが増えていて、台湾やタイが多くなってきましたが、日本をもっと知りたいといった非常に質の高いインバウンドなんです。博物館の入館者も、数は少ないですが、日本語ができて、普通の観光、爆買いみたいな観光ではなくて、学ぶ意欲の強いインバウンドが増えてきていますが、当博物館ではどうなのか。その人たちを対象に例えば英語や多言語対応などは想定した方がいいのかどうか。その辺りを教えていただきたいんです。

【執行機関】

外国人来館者はそこまで多い印象はありません。展示のキャプション等についても、当館では今のところ日本語表記のみの対応になっていますが、博物館法が改正になり、インバウンドや多言語化なども意識しなさいというふうに法律が変わりましたので、今後、状況を見つつ、対応も検討に入っていかなければならない時代になってきたのかなという感じはしています。

【委員長】

他にございますか。

この後、特別展「江戸氏 ―知られざる水戸の戦国時代―」の展示を見ながらご説明をいただけるということなので、この辺で協議事項に移ってよろしいでしょうか。

では、最初に事務局のほうから説明いただきます。

【執行機関】（資料説明）

【委員長】

次に協議事項(2)令和6年度博物館の主な事業（案）について事務局のほうからお願いします。

【執行機関】（資料説明）

【委員長】

以上の説明について、何かございますか。

なければ、事務局のほうに進行をお戻ししたいと思います。

【執行機関】

以上を持ちまして、令和5年度第2回水戸市博物館協議会を終了いたします。